

「志を立てて、以て万事の源となす」

講義・演習 「積極的生徒指導を実現する学校経営 ～保護者・関係機関を巻き込むには～」 福岡県立大学 准教授 奥村 賢一 氏

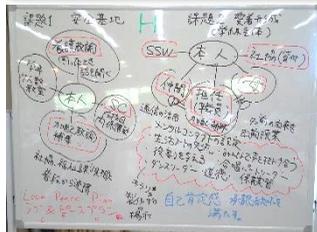
愛着形成に課題を抱える児童生徒の支援は、学校(教師)が環境をつくることも重要である。「愛着」とは特定の人との間に結ぶ情緒的な絆のことであり、親子の間だけで育つものではない。学校が「安全基地」として機能するために、「慈悲」を具現化した関わりを実践してほしい。

児童生徒が「守られている」感覚をもつことができるようにする。
見通し 気持ち 選択肢

慈

悲

「安心」という心のよりどころをつくる。支援者の評価を挟まない。
受容 傾聴 共感



塾生からの声

- グループワークで個別支援計画を作成する中で安全基地の必要性や愛着形成に向けたアプローチを深めることができたと感じています。これまで私は愛着形成を育む場は家庭である、学校では無理だと決めつけていました。しかし、その場が家庭や親だけでなく、学校や学級、先生や友だちにその一役が担えたならどんなに子どもたちが幸せか考え直すことができました。決して簡単な実践ではないことは理解しているが研修を通して新たな教師としての魅力を発見できたと感じています。
- どの学校にも起こり得る事例での演習が大変勉強になりました。児童に気になるところがあった際に、すぐに特別支援と結びつけて考えるのではなく、愛着形成に課題を抱えているのか等、しっかり見極める重要性を感じました。また、実際の個別支援計画をグループワークを通して行うことで、自分だけの偏った支援から、様々な支援について考えを見出すことができたので、自分の見方・考え方を深めることができました。
- 児童生徒理解と指導・支援の在り方の根本にかかわる内容であり、大変勉強になりました。一面だけを見たり、偏った見方で決めつけるのではなく、様々な面を様々な見方で見て、支援を考える必要があることを改めて認識することができることも、新しい視点を深く認識できたように思います。

企画・運営研修「開 (KAI)」④

熟議 「実現に向けた取組を語り合おう！」
教育センター 指導主事



塾生からの声

- 理想の学校の実現に向けた具体的な取組について、他の学校の先生方と協議をすることで、課題だと感じていることや実践したいと考えていることに共通したものがあることが分かりました。実践したいと思ったことをどうすれば実践できるのか具体的な取組を考え決定し、実践することがこの研修を受けた自分の役割であると分かりました。
- 異校種交流によりそれぞれで抱えている問題とその解決案を出し合うことで視野が広がりました。
- 理想の学校について具体的に考えていく中で、今すぐにも取りかかることができそうなこと(若手教員に自由に授業を見に来る機会を作る、教師間のコミュニケーションの潤滑油的な役割を果たす)が明確になり、実践していこうと思いました。
- 理想の学校像を目指して実践したいと考えたことや熟議の中で話した内容、講演会の内容等を、まわりの先生方や地域の方に伝え巻き込みながら、少しずつでも子どものためにチーム学校としてできることに活用しようと思っています。
- 企画・運営研修も佳境を迎え、自分が理想とする学校像を、現在の勤務校でどうすれば実現できるかを常に考えるようになってきました。いかに同僚を巻き込むか、いかに実践するかを考えるきっかけとなっています。

令和4年度福岡教師塾 (第6回)
令和4年9月16日(金) 実施
福岡県教育センター